

WILL(ウィル)とは、『意志』という意味です。強い「意志」を持って
未来へと繋(つな)がる 新しい町づくりに取り組みます。

WILL

小亀重喜氏を支援する会からのお便り

小亀しげき後援会だより “ウィル” 平成20年(2008年)新春号

支援する会 事務所/住所:〒766-0023 まんのう町吉野3410 TEL:0877-79-2779
ホームページ(kamechanのブログ) … <http://ameblo.jp/blog-kamechan/>



「使命」を胸に前進します!

過分のご支援を賜り、奮闘中の新人議員小亀しげきも、今春、はや「折り返し」を迎えます。ここに平日頃の感謝に併せ、新年のご挨拶を申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。旧年中は小亀しげきに対しまして格別のご支持・ご支援を頂戴し、有難うございました。後援会一同、心より厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を思い返せば、食品の偽装表示・不正表示、防衛省に関わる幹部職員の贈収賄汚職、また近隣で起こった凶悪事件等、残念ながら暗澹たる一年であったと言わざるを得ません。これら社会の歪みは、いつたい何に起因するのでしょうか。それは、各人、各組織が本来担っている「使命感の欠如」にほかならないと考えます。

地方分権が進む中で、末端の自治体(行政機構)や議会の役割、そして「議会議員が果たすべき使命」についても自ら問い直し、認識を新たにしなければなりません。新人議員小亀しげきも、4年間の任期のちょうど半ばに差し掛かりました。真の住民の代弁者足り得るべく、昨年にも増して研鑽を重ね邁進する所存です。

どうか本年も皆様方からの温かいご支援・ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。併せまして、皆様方のご健勝・ご多幸をお祈り申し上げます。
(後援会一同)



「和して同ぜず」



皆さん、小亀重喜です。

謹んで新年のお慶びを申し上げます。また、日頃のご支援、本当に有難うございます。感謝致しております。月日の経つのは早いもので間もなく新人議員として2回目の春を迎えようとしています。私、小亀重喜のこれまでの活動は、皆さんのご期待に沿うものだったでしょうか? **定例会毎に機会を活かし、毎回、積極的**に発言して参りましたが、

非力ゆえ、皆さんの声を町政の場に十分に届けることが出来ず、申し訳なく感じております。

さて考えますに、皆さんからも、議会内において他の議員諸氏、また執行部からも、私は「保守系」の新人議員と捉えられていると存じますが、約2年を経過した今、自身の「立ち位置(スタンス)」を**明確にする必要性**を感じております。それは支持政党のおハナシではありません。与党・野党間で永年にわたり議席数の確保を最大の焦点として争っている国政の場とは異なり、当町議会のような**地方議会では、政党性が大きな影響を与えるものではない**と考えています。むしろ各議員の志向性が「**執行部(役場)迎合型か、否か**」の観点にて論じられる方が**的を得ている**と思われまふ。執行部と議会は「**クルマの両輪**」に喩えられます。「**両**

者が協力しなければ進まない」…確かにその通りなのですが、「だから常々仲良くしましょう」というニュアンスが言外に含まれているように感じます。私なりに新たな意味を加えんとすれば、こうです:「間違った方向に進んでいるならば、**片輪だけでもブレーキをかけ、減速させる**」…これこそ「**両輪たる意味**」だと思っております。激動の今、行政機構も議会も過去にない変革を求められています。執行部提案を笑顔で追認しながら責任は回避する議会ではなく、**多少の軋轢は覚悟の上で、より優れた代替案を提示し、合意すれば互いに当事者として、住民に対し責任を持つ議会**でありたいと考えます。微力ですが本年も頑張りまふ。何卒相変わらぬご支援、ご指導を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。
(小亀重喜記)

この後援会だよりについてのご感想や小亀しげきへのご意見・ご要望をお聞かせ下さい。下の葉書を切り取ってお使い下さい。(切手は不要です)

切り取り線

郵便はがき

7 6 6 - 8 7 9 0

(受取人)

香川県仲多度郡
まんのう町吉野3410番地

小亀重喜氏を支援する会

後援会事務所 行

料金受取人払

琴平局承認

12

差出有効期限
平成20年6月
30日まで。
(切手不要)



※お手数ですがご記入下さい。

ご住所 〒	
お名前 男・女	
TEL	FAX
E-mail	@